



中部方面混成団長
兼ねて大津駐屯地司令
一等陸佐 青井 常治

謹賀新年

令和四年元旦

朝日に照らされる琵琶湖と大津駐屯地



第49号
令和4年1月1日

団長統率方針

任務完遂

団長要望事項

創意と情熱
心技体の充実

駐屯地司令
要望事項

作戦基盤の確立
環境の改善
地域との連携



web site

年頭の辞

皆様新年明けましておめでとうございます。

昨年十二月一日に第九代中部方面混成団長兼ねて第三十五代大津駐屯地司令として着任いたしました青井一佐です。

大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会を始め、自衛隊協力諸団体や地域の皆様におかれましては、日頃から中部方面混成団及び大津駐屯地に対する格別なる御支援・御協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

また、隊員諸官においては、任務の完遂に向けて日夜献身的に業務に精励するとともに、隊員の御家族の皆様には、日頃より隊員の心の支えとなっていたいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大やあいば野演習場の訓練事業による影響を大きく受けたものの、中部方面混成団は、各普通科連隊の練成訓練や、新隊員・准曹・予備自衛官等の教育訓練について、柔軟に計画を変更し着実に推進するとともに、コロナ対策のノウハウを積み上げて参りました。

令和四年は、心機一転、益々厳しくなる安全保障環境に対応し、「創意と情熱」をもつて、各種制約事項を克服し、中部方面混成団の任務を完遂するとともに、駐屯地行事等を通じて地域の皆様との連携を強化して参る所存です。

自衛隊協力諸団体や地域の皆様には、今後とも変わらぬ御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心から祈念し、新年の御挨拶いたします。

各会長から新年の御挨拶

大津自衛隊協力会長 山下 英利



皆様明けましておめでとうございます。心輝かしい新年をお迎えいただきましたことを、心よりお慶び申し上げますと共に、大津自衛隊協力会が地域と駐屯地を結ぶかけはしとして、活動させていただいておりますのは、会員皆様の暖かい御理解と御協力の賜物でありますことを厚く御礼申し上げます。

昨年と同様に新型コロナウイルス感染症の猛威が続く、私達の生活に大きな影響を及ぼした一年でした。今年は変異を続けるコロナウイルスに打ち勝つ一年になることを心から願い、安心が生活に訪れます様に祈っております。

自衛隊の皆様には、この新型コロナウイルス感染症の猛威の中でも、私達国民の安全を確保するべく日々鍛錬を積み重ねていただいていることに深く感謝を致しております。日本を取り巻く内外の情勢が不透明感を増す中で、益々重要な役割を担う隊員の皆様の士気を高める一助として、大津自衛隊協力会が地域と駐屯地の絆を深める活動に努めて参ります。

会員の皆様には、引き続き御協力を賜ります様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様にとって、今年が良い年となりますことを御祈念申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。

中部方面混成団友の会長 田中 清司



中部方面混成団並びに大津駐屯地の皆様、混成団友の会の皆様明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスで日本中、そして世界中が翻弄された一年であったと思います。

新たなオミクロン株が現れ、年が明けてもまだまだ安心して今までの様な平穏な日々が送れない可能性もあります。

この新型コロナウイルスのせいで2年間はほとんどの駐屯地行事等が出来ずに大変寂しく残念な思いをいたしました。しかし、今年はこの新型コロナウイルスを封じ込めて例年通りの駐屯地行事等が行われることを願っております。

そして、中部方面混成団並びに大津駐屯地の皆様におかれましては本来の任務であります国防に力を入れて頂き安心・安全で平和な日々を守っていただけるようお願いいたします。

そして、隊員の皆様及び友の会の皆様にとって幸多い一年でありますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

中部方面混成団長兼ねて大津駐屯地司令着任



統率方針
任務の完遂

あおい つねはる
1等陸佐 青井 常治

昭和42年1月生まれ
香川県出身
防衛大学校33期（機械工学）

団長要望事項

創意と情熱
心技体の充実

駐屯地司令要望事項

作戦基盤の確立
環境の改善
地域との連携

主要経歴

平成 元年 9月	第10施設群（小隊長）	船岡
平成 4年 3月	防衛大学校理工学研究科	横須賀
平成 6年 3月	第110施設大隊（中隊長等）	滝ヶ原
平成10年 3月	幹部学校（TAC#26）	目黒
平成11年 3月	施設学校 研究部	勝田
平成12年 8月	陸上幕僚監部 人事部人事計画課	市ヶ谷
平成16年 3月	第305施設隊長	善通寺
平成18年 3月	陸上幕僚監部 装備部開発課	市ヶ谷
平成20年 4月	研究本部企画調整官	朝霞
平成21年 8月	陸上幕僚監部 装備部開発課総括班長	市ヶ谷
平成23年 8月	幹部学校 学校教官	目黒
平成23年 12月	香川地方協力本部長	高松
平成25年 8月	陸上幕僚監部 人事部募集・援護調整官	市ヶ谷
平成27年 4月	第14旅団司令部幕僚長	善通寺
平成28年 12月	研究本部 研究開発企画官	朝霞
平成30年 3月	教育訓練研究本部 総合企画課長	目黒
平成30年 8月	西部方面総監部 総務部長	健軍
令和 3年 12月	現職	大津

着任の辞（全文）

このたび、12月1日付で第9代中部方面混成団長兼ねて第35代大津駐屯地司令を拝命した青井1佐である。

中部方面隊は、私の約35年の自衛官人生で3回勤務した思い出の地であり、諸官とともに勤務できることを喜びに感じるとともに、中部方面隊2府19県を主体とした隊員の人材育成並びに4個師旅団をはじめ各部隊等と連携した防衛警備、災害派遣等を担当するという責務の重さを痛感し、身の引き締まる思いである。

歴代団長及び駐屯地司令をはじめ諸先輩方が作り上げてきた伝統ある中部方面混成団及び大津駐屯地は、我が国の安全保障環境がより厳しさを増す中、令和3年度日米共同方面隊指揮所演習や陸上自衛隊演習においても、方面隊の広大な後方地域作戦や有事教育という重要な任務を付与され、より方面隊全体に貢献することが求められている。

このため、私の混成団長としての統率方針を「任務の完遂」とする。

我々は事に臨んでは危険を顧みず、国土を防衛し、国民の生命・財産を守るという崇高な任務を必ず達成しなければならない。また、新隊員、准曹、予備自衛官等の教育任務を完遂し、各部隊・隊員の後継者を育成して人的戦闘力の維持・増進により強靱性・持続性のある方面隊の育成に貢献しなければならない。

以上を踏まえ、私の団長としての要望事項を以下の2点とする。

第1の要望事項は、「創意と情熱」である。

これは、文字通り、絶えずアイデアを出して、創意工夫し、問題点を解決するとともに、何が何でも任務を完遂するという情熱をもって取り組むことである。中部方面混成団として先に示した任務を完遂するため、各普通科連隊は、常備自衛官と即応予備自衛官が一体となつて練度を向上できるように創意工夫して各種制約事項を克服するとともに、関係部隊と連携して強靱な部隊の育成のため情熱をもって取り組んでもらいたい。また、陸曹教育隊及び各教育大隊は、人材育成において価値観の異なる多感な若者からベテランの准曹まで多種多様な被教育者の特性及び教育目標を踏まえて教官・助教等が創意工夫し、「心に響く」教育・指導により次世代を担う有為な人材育成ができるよう情熱をもって取り組んでもらいたい。さらに、団本部は、混成団内の各部隊と方面隊内の関係部隊・機関と連携し、創意工夫して任務完遂の基盤を整備するとともに、混成団一丸となつて任務を完遂できるような情熱をもって取り組んでもらいたい。

第2の要望事項は、「心技体の充実」である。

「心（しん・こころ）」は、「自衛官の心構え」にもあるように、「使命」を自覚し、「団結」「規律」「士気」を維持・向上することであり、「技（ぎ・わざ）」は、「作戦・戦術・戦闘・戦技」また、状況判断能力や業務遂行能力をそれぞれのレベルで向上させることであり、さらに、「体（たい・からだ）」は、任務遂行の為の体力を練成し、健康管理を徹底することであるが、各人が「心技体を充実」しつつ、任務の完遂にあつてもらいたい。

次に、駐屯地司令としては、「信頼される大津駐屯地」となるため以下の3点を要望する。

第1の要望事項は、「作戦基盤の確立」である。

駐屯地が、大津市に所在する陸上自衛隊の拠点として駐屯地各部隊の任務遂行や家族支援、また、機動展開部隊の通過支援や兵站支援等を実施するためには、駐屯地警備や火災予防、また、保全に万全を期すとともに、新型コロナウイルス対策や食中毒予防等の防疫を徹底して各部隊・隊員の安全を確保し、駐屯地として機能発揮できる作戦基盤を確立するよう物心両面の準備を整えることが必要である。

第2の要望事項は、「環境の改善」である。

駐屯地は、生活・勤務環境の場として、快適で綺麗な環境に改善していくことが士気を高め、かつ、地域の理解を獲得する上でも重要である。従つて、各部隊・隊員は、相互によく連携・協力するとともに、業務隊は、関係所掌との確に調整し、ハード面の改善に取り組んでもらいたい。また、生活・勤務環境のソフト面においても、敬礼やあいさつが自然にできるとともに、駐屯地としての服務規律や社会人としてのルールを守つて、相互に信頼できる生活・勤務環境となるよう、改善努力を継続することが必要である。

第3の要望事項は、「地域との連携」である。

我々が、任務を完遂する上で地域の理解や国民の信頼を獲得することは、必要不可欠である。他方、自衛隊に対する理解は、未だ不十分であると認識しており、コロナ禍が明ければ駐屯地として各種行事等を通じ部隊及び隊員の状況を理解して頂く場を設定するとともに、SNSや各種媒体等による情報発信を積極的に実施して自衛隊の理解者を獲得し、自衛官募集、援護業務、予備自衛官業務にもつながるよう地域との連携を維持・強化することが必要である。

以上、中部方面混成団長としての統率方針「任務の完遂」、要望事項「創意と情熱」「心技体の充実」、大津駐屯地司令として要望事項「作戦基盤の確立」「環境の改善」「地域との連携」について要望したが、皆さんに対する要望事項は、私自身の目標また戒めでもある。

本日より、諸官とともに中部方面混成団としての任務を完遂し、また、信頼される大津駐屯地となるよう邁進することを誓い、着任の辞とする。

第8代芝団長 離任



第8代混成団長芝1佐は、令和3年12月1日付けをもって陸将補に特別昇任し退官されました。

永年にわたる自衛隊勤務
お疲れ様でした

着任関連行事



幹部挨拶



着任式



初度視察



混成団各部隊長等新年の挨拶



第47普通科連隊長 一等陸佐 阿部 慎治



大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会をはじめ協力諸団体の皆様、平素から即応予備自衛官をお支え頂いている雇用主企業、御家族、地方協力本部の皆様、そして団、大津駐屯地の隊員、御家族の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

連隊は、平素それぞれの職業、学業等に従事し高い志と挑戦する勇気を持った即応予備自衛官と常備自衛官が一体となり、「常即一体」「魁」との連隊の伝統と誇りを堅持し、本年も新型コロナウイルス感染症への対策を講じつつ、何時如何なる状況においても確実に任務を完遂しうるよう即応性を維持し、厳しい訓練に取り組む等、危機感を持ち隙のない隊務を運営して参ります。

本年も、隊員一同専心努力する所存でありますので、宜しく御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第49普通科連隊長 一等陸佐 関谷 拓郎



大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会をはじめとする協力諸団体の皆様、隊員及び隊員家族の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国周辺の安全保障環境は、中国の一方的な現状変更の試み、北朝鮮の核兵器及び運搬手段の開発の継続等、一層厳しさを増しており、隊員一同危機感を持って日々訓練に励んでいるところではあります。昨年中はコロナ禍による招集訓練や各種行事の制限等により、隊員のみならず御家族、関係者の皆様にも御心配と御迷惑をおかけしました。

ワクチン接種の普及に伴い国内でも原状復帰の明るい兆しが見え始めており、今年が皆様にとつて良い一年となることを願ってやみません。連隊も常備・即自が一体となり、日々精進して即応態勢を維持し、国家の安寧に寄与していく所存です。

本年も隊員と共に実りのある一年となるよう一層奮励努力して参りますので、引き続き御支援、御協力の程、よろしくお願いいたします。

第4陸曹教育隊長 一等陸佐 木場 元大



大津自衛隊協力会、中部方面混成団友の会をはじめ協力諸団体の皆様、隊員及び御家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、変異株も継続的に発生するなど未だ社会生活に多大な影響をもたらしております。一日も早くこの困難が終息することを祈念しております。

さて、昨今の安全保障環境や技術革新の大きな変化を考慮しますと、状況判断できる分隊長及び班長の育成が喫緊の課題であると認識しております。よって隊は、各課程教育において小部隊リーダーとしての状況判断能力の修得を重点にしつつ、戦術教育についても充実させてゆく所存です。

また、それぞれの地位に応じた基礎となる知識・技能を修得させるとともに、資質を涵養させるべく情熱と愛情をもつて教育に取り組んでまいります。そして、「俺を見よ、俺に続け」という伝統ある指標を隊長以下基幹要員が率先して体現するべく、隊一丸となつて一層精進・努力する所存です。

本年も変わらぬ御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

第109教育大隊長 二等陸佐 有馬 靖



皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年、大隊は、継続するコロナ禍のなか感染対策を行いつつ、自衛官候補生、一般陸曹候補生、予備自衛官、予備自衛官補、車両操縦手育成等の教育訓練を着実に実施し、部隊において真に活躍し得る新隊員等及び人格を重視した操縦手の育成に努めてまいりました。

なかでも、新隊員教育においては、入隊者の増加に対して適切な教育態勢を講じながら、自衛官、特に、戦闘員としての基礎を涵養できるよう、教育の質の向上を図りました。本年も、部隊において真に役立つ隊員を効果的に育成できるよう取り組んでまいります。引き続き皆様の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になります。皆様の御多幸をお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

第110教育大隊長 二等陸佐 土橋 晃輔



皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年大隊は、コロナ過での感染対策に万全を期し一般陸曹候補生では松山駐屯地と3度目となる大久保駐屯地への派遣教育により約500名を、予備自衛官補ではこれまで13回、約100名を、予備自衛官では2回、約50名の教育訓練を行いました。なかでも予備自衛官の職務訓練（語学）では、米陸軍呉基地において実地的な通訳訓練を行うなど教育の質的向上を図り、真に役立つ隊員の育成に邁進してまいりました。

基幹要員に対しては、新たに付与された「戦闘隊」としての任務遂行能力を保持すべく昨年8月から練成を始め、射撃術等の練度を向上しつつあります。

本年も、これら教育等任務に邁進し、一層努力精進して参る所存でありますので、変わらぬ御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様の御多幸をお祈りし新年の御挨拶とさせていただきます。

混成団最先任上級曹長 准陸尉 門坂 秀幸



中部方面混成団准曹及び隊員御家族の皆様並びに協力諸団体の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、隊員は各種行動に制約を受ける厳しい年でありましたが、部隊において真に役立つ隊員を育成する目的のもと、困難な状況においても情熱と愛情のある教育が出来たと思えます。

感染が終息し、隊員がマスクを外して伸び伸びと教育訓練に専念出来る日が早く来ることを願っております。本年も、上級曹長系統は、指揮官を補佐し、曹士の育成に邁進していく所存ですので、引き続き皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の御多幸をお祈りし、新年の御挨拶とさせていただきます。



混成団各部隊年男・年女の抱負



混成団本部 一等陸曹 本田 雅巳



気が付けば本年でもう4度目の年男を迎えることになり、のんびりとした性格の自分ですが歳月の経つ早さに驚いています。最近では何かと体力の

衰えを実感する場面が多くなりましたが、私の唯一無二の財産である健康な身体を大切に、「虎は、千里往つて千里還る。」ということわざの様に、心身ともに活力に満ちた行動力のある働きができるよう精進していきたいと思います。

最後に、皆様にとって良い年となることと悲願である阪神タイガースが優勝出来ることを祈念して新年の御挨拶とさせていただきます。

第47普通科連隊 三等陸尉 山本 昭人



今年で4回目の年男を自衛官として迎えることができるのも良き上司や先輩の御指導、良き同僚や後輩の協力・支援があつてのことだと感謝しています。本年は寅年です。寅年の人は正義感が強く、たとえ逆境にあつても立ち向かう強さがあると言われますが、ややもすれば負けず嫌いや頑固な人と思われがちです。

しかし、私は、幹部自衛官として負けず嫌いや頑固さを「任務完遂」に必要な要素に変換し、寅男として「正しく逞しく。」日々、精進する所存です。

最後に、単身赴任している私の代わりに家庭をしっかり守ってくれている妻への感謝を永遠に誓い年男の抱負とします。

第49普通科連隊 二等陸曹 酒井 優平



第49普通科連隊に勤務して約4年5か月が経ちました。また、昨年3月から連隊本部第1科文書陸曹に上番しました。自衛隊生活で初めての連隊本部勤務であり大変なこともたくさんありましたが、上司の方々や先輩の御指導、後輩からの協力のおかげで新年を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。

新年の抱負は、「雲外蒼天」を挙げたいと思います。勤務もさることながらプライベートも楽しいことや嬉しいことがある反面、困難なことや苦しいことに直面することもたくさんあると思います。それに目を背けず、雲の先の澄んだ青い空を目指して前向きに頑張っていきたいと思っています。

最後に、皆様にとって良い1年になりますよう御祈念申し上げます。

第4陸曹教育隊 一等陸曹 重並 和孝



今年で4度目の年男ですが、年男など今まで全く意識してきてはいませんでした。単純に4度目の年男と考えたら、まだまだ少ないと感じますが、年齢で考えると非常に長い日々に感じます。

今年は、中学からの好きな言葉であります「縦横邁進」から変化させ、少し落ち着いたライフスタイルや新しい取り組みを考えています。

その一つは、大津に単身赴任で勤務し、コロナという状況下で公共交通機関での移動に不安があり、今まで絶対に乗らないと決めていたバイクに乗るという事です。交通手段を変えることで今まで行けなかった場所に行くことが出来たり、同じ場所を走行しても景色や感じ方が違う事に驚き、家族に話すことが多くありました。せっかくなら家族とタンデムで一緒に楽しみ、落ち着いて周りを見て感じる事を大切にしたいと思います。

少しの経験や考えで決めつけず、行動することで新しい発見や体験ができる事を大切に、年男という節目でライフスタイルを見直して日々活力が衰えることがないように精進していきます。

第109教育大隊 准陸尉 岩崎 奈波



4回目の年女を迎えるにあたり、振り返りをしてみようと思います。

1回目、阪神が優勝した次の年。2回目、3曹昇任。3回目、思い切つて家を買う。なんだか色々節目の年であつたように思います。

さてさて4回目はどのような1年になるのか今からワクワクが止まりません(笑)。とりあえず、大きなケガや病気もなくここまでこられたのも、周りで支えてくれている家族・同僚(仲間)のお力添えがあつたからこそと、心の底から感謝をして日々を大切に過ごしていきたいと思っています。今後どうぞよろしくお願いします。

第110教育大隊 三等陸曹 佐藤 禎士



本年は、五寅の寅といわれる寅年最高の年を迎えるにあたり、抱負として「全力」を掲げて参りたいと思います。年齢を重ねるとともに、低下していく気力・体力・記憶力...少しの甘えが体脂肪と業務の蓄積に...。そんな自分を打破すべく公私にわたり全力をもって邁進していきたいと思います。

特に業務においては、健康係として自分自身の健康管理に全力をもって改善するとともに、肉体強化に励んでいきたいと思っています。また、私事です、が、広島東洋カープの根っからの信者で、産まれは寅であつても生涯鯉党です。本年こそは悲願の日本一を奪取すべく、こちらの方も全力をもって応援して参ります。

公私にわたり不十分な点が多い私ですが、年男というひとつの結節を気持ち新たに精進して参りますので、変わらぬ御指導及び御鞭撻をよろしくお願いします。